

事由	死亡
記入例番号	11
ケース	死亡
異動後の未徴収税額	普通徴収

給与支払報告書に係る給与所得者異動届出書
特別徴収

年度 1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度

<p>給与支払報告書に記載した事業 所内で従業員のかたを管理・特定 するための番号を記入。 特にない場合は空欄。</p>	所在地	〒 ××××-×××× ○○県○○市○○町○○番地										特別徴収義務者 指定番号	6012345						
	フリガナ											宛名番号	1234						
	氏名又は名称	○○商事株式会社										担連 当給 者先	所属 氏名	総務課 給与係 田中 花子					
	個人番号 又は法人番号	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	電話	0123-45-6789 内線 (123)			
給 与 所 得 者	生 日	S 33 年 6 月 9 日										特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア) - (イ)	異 動 の 事 由	異動後の未徴 収 税額の徴収方 法			
	個人 番号	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4		6	9	××	4	3
	受給者 番号	12345										140,000	6	9	××	4	3		
	1月1日 現在の住所	吉野ヶ里町○○△△△番地										円	8	5	8	3			
	異動後の 住所	□□市□□町□□番地										円	35,600	104,400	31	3			

1. 特別徴収

課税された年度の1月1日時点での住所地で課税されるため、その住所を記入。転居しても、5月分までの1年分を1月1日の住所地に納めます。

新しい勤務先へは、月割額 _____ 円を _____ 月分 (翌10日納入期限分) から徴収し、納入するよう連絡済みです。

受給者番号 _____

氏名又は名称 _____

納入書の要否 (新規の場合のみ記載) 右から番号を1. 必要 2. 不要

2. 一括徴収の場合

理由 1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出がある
 2. 異動が令和 年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がある

3. 普通徴収の場合

理由 1. 異動が令和3年12月31日までで、一括徴収の申出がない
 2. 令和 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職金
 3. 死亡による退職であるため

8月末で死亡した給与所得者の徴収方法を、9月から普通徴収に変更する場合。

(ア) 特別徴収税額 (年税額) 140,000円 (6月から翌年5月分)
 (イ) 徴収済額 35,600円 (6月から8月分)
 (ウ) 未徴収税額 104,400円 (9月から翌年5月分)

↑
 普通徴収税額